

環境経営レポート2023

(対象期間:2023年1月~12月)

イメージキャラクター「エコマル」



profile

名前: エコマル
生年月日: 2010年1月1日
身長: 99.9cm
体重: 99.9kg
パワー: 99.9馬力
資格: ダジャレ1級
趣味: 散歩
好物: 駄菓子
特技: リデュース・リユース・リサイクル

限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会をつくろう
とする為に作られた近未来型ロボット「エコマル」

発行日 2024年2月15日

EB-0818

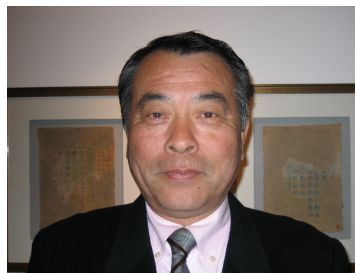
目次

1. 事業概要	3
2. 対象範囲	5
3. 環境経営方針	7
4. 環境経営目標とその実績	8
5. 環境経営計画	12
6. 環境経営活動の取組結果の評価及び今後の取組み	13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	14
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	15
9. 地域環境活動	15

■ 事業概要

1 事業者名及び代表者名

株式会社 まるやま
代表取締役 丸山得治



弊社は昭和28年に個人営業から法人化を行なって、有限会社丸山商店として事業を展開して参りましたが、平成23年に「株式会社まるやま」として新たなスタートを切り、今日に至っております。

この間、多くのお取引様や地域の方々のご支援を得ながら、

『**自然環境との調和**』をモットーに地域に根ざした事業者として、
廃棄物の適正処理や資源のリサイクルを通じて循環型社会構築の一助とすべく、従業員一同日々努力研鑽を重ねて参りました。

今後とも、より多くの資源の再利用に取り組んでいく所存です。

2 所在地

本社	栃木県鹿沼市戸張町2311番地	電話 0289(62)2685
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市上戸祭3-8-24	電話 028(621)2876
鹿沼営業所	栃木県鹿沼市栃窪706-3	電話 0289(65)1446
日光営業所	栃木県日光市板橋1670-1	電話 0288(27)3580
千渡資材置場	栃木県鹿沼市千渡1497-3	

3 事業内容

製紙・製鉄・非鉄金属・特殊金属原料リサイクル／一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬／
機密文書処理／機密性装置及び設備処理／重量物搬出処理

4 事業規模

設立年月日	昭和28年10月9日
資本金	10,000,000円
売上高	570百万円(2023年度)
敷地面積	4612㎡
従業員数	33人

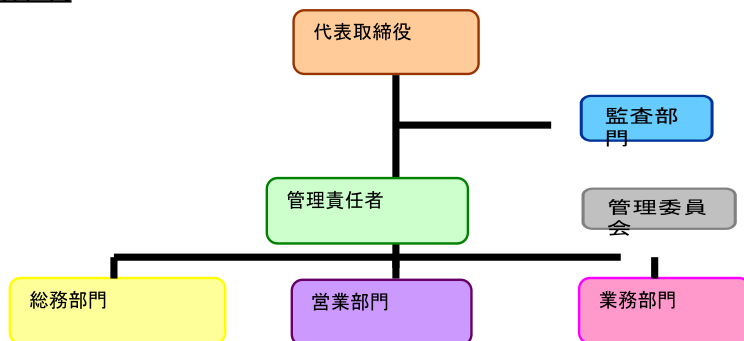
5 環境管理責任者指名及び連絡先

環境管理責任者 鈴木栄司

<http://ecomaru.net/toiawase.html>

お問い合わせは上記URLよりお願いいたします。

6 組織体制



7 保有許可一覧

○産業廃棄物収集運搬業

許可地域	許可番号、許可の取得日及び許可の有効期限	許可品目(積替え保管を除く)
栃木県	00900046912 許可日:2019年2月22日 有効期限:2026年2月21日 (優良認定)	・汚泥・廃油・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず ・廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む) ・がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)
茨城県	0801046912 許可日:2022年11月21日 有効期限:2027年7月18日	・廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く) ・紙くず

○一般廃棄物収集運搬業

都道府県及び政令都市	許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
鹿沼市	第50号 2023年 5月26日	2025年5月31日
宇都宮市	第90号 2023年11月14日	2025年10月14日

○電子マニフェスト 許可番号 046912

○古物商 第411050000023号(1987年5月6日取得)

○廃棄物再生事業者登録

都道府県及び取得日	許可番号および廃棄物の再生に係る事業の内容
栃木県 取得日:2014年1月16日	24 金属くず(産業廃棄物)
栃木県 取得日:2014年5月7日	25 古紙(産業廃棄物)

○再生資源回収事業者認定

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
第N09K-00238号 2023年12月6日	2026年 12月5日

○計量証明事業登録 第0534号

○第一種フロン類回収業者

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
栃木県 第1-1184号 2023年11月8日	2028年 11月7日

○プライバシーマーク

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
第10870042(03)号 2023年12月10日	2025年 12月9日

○エコアクション21

許可番号および許可の取得日	許可の有効期限
0000703 2022年3月30日	2024年3月29日

8 処理の実績(2023年1月～12月)

産業廃棄物

収集運搬	
紙くず	84.840t
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	169.100t
がれき類	100.270t
木くず	625.978t
金属くず	822.110t
繊維くず	0.648t
廃プラスチック類	1196.946t
廃油	0.290t
汚泥	9.510t
水銀使用製品	3.000t
合 計	3012.692t

一般廃棄物

収集運搬	
可燃ごみ	230.36t
不燃ごみ	0.07t
粗大ごみ	0.00t
ビン	0.44t
ペットボトル	0.00t
合 計	230.87t

9 収集運搬車両

車両の形状	運搬品目	自動車登録番号	最大積載量	寸法
キャブオーバー	許可品目全般 (廃油は除く)	栃木 11 み 623	4000kg	645×219×245
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 せ 3198	1750kg	614×190×240
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 す 7008	3100kg	573×215×230
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	栃木 88 は 3631	2000kg	513×185×230
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 100 す 7815	2550kg	632×210×212
塵芥車	許可品目全般 (廃油は除く)	宇都宮 800 す 7115	2000kg	517×185×227
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 6265	11700kg	799×226×268
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 8130	10800kg	1188×250×312
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 8170	7700kg	1088×249×347
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 771	7300kg	947×245×304
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 2424	5400kg	799×223×332
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 8413	3800kg	679×220×282
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 7968	3000kg	614×190×240
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 6151	2000kg	614×217×224
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 そ 6470	3750kg	726×229×254
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 100 は 5130	7900kg	942×230×296
脱着装置付コンテナ専用車	許可品目全般	宇都宮 100 は 5267	8000kg	614×229×252
バン	許可品目全般	宇都宮 100 せ 2778	2000kg	618×220×305
キャブオーバー	許可品目全般	宇都宮 400 つ 4770	2000kg	468×169×198

※寸法・長さ×幅×高さ 単位cm

10 情報公開事項

その他の情報は

自社HP : <http://www.ecomaru.net>

優良産廃処理業者認定制度による情報公開制度のための産業廃棄物情報サイト

産廃ネット: <http://www.sanpainet.or.jp/>

を参照下さい

■対象範囲

当社は、全ての組織・全ての活動を認証登録の対象範囲としています。

環境経営方針

私達株式会社まるやまは、「自然環境との調和」をスローガンに、本業である製紙、製鉄、非鉄金属原料リサイクル及び一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬業務活動を通じ、運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制や、廃棄物の発生抑制に努め、微力ながら持続可能な循環型社会の形成に向けて邁進いたします。

具体的取組

1. 環境関連法規制の遵守

環境に関する法規制、条例及び加盟団体の規約を遵守し、自社を取り巻く環境の継続的改善と汚染の予防に努めます。

2. 環境負荷の低減

自社の事業活動による環境負荷を最小限にするべく目標を設定し、全員で取り組みます。

- ・運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制に努める
- ・再生資源化事業の推進に努める
- ・事務所及び事業場における節電、節水、廃棄物削減に努める
- ・グリーン購入の推進に努める
- ・3S活動の推進に努める

3. 全従業員への周知と公表

この環境方針は社内に掲示し、全従業員に周知する。

また、環境活動レポートに盛り込んで、外部にも公表する。

制定 2005年10月1日

改定 2021年 3月10日

代表取締役 丸山 得治

(株)まるやま

■環境経営目標とその実績

1.中期目標(2022年度～2024年度)

		基準	目標			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素排出抑制	電力消費量削減 (鹿沼営業所)	5539kwh	1%削減 5484kwh	2%削減 5428kwh	3%削減 5373kwh	
	電力消費量削減 (日光営業所)※	28.24kwh/t	1%削減 27.96kwh/t	2%削減 27.68kwh/t	3%削減 27.39kwh/t	
	車両の軽油使用量の削減	4.70ℓ/t	1%削減 4.653ℓ/t	2%削減 4.606ℓ/t	3%削減 4.559ℓ/t	
	二酸化炭素排出量の削減	192,255kg-CO2	1%削減 190,332kg-CO2	2%削減 188,410kg-CO2	3%削減 186,487kg-CO2	
水使用量削減	節水 (鹿沼営業所)	27m ³	年間使用量 27m ³ 以下	年間使用量 27m ³ 以下	年間使用量 27m ³ 以下	
	節水 (日光営業所)	55m ³	年間使用量 50m ³ 以下	年間使用量 50m ³ 以下	年間使用量 50m ³ 以下	
廃棄物排出抑制	再生資源 取扱量を 増やす	鉄・非鉄	100	3%増加 103	4%増加 104	5%増加 105
		古紙	100	3%増加 103	4%増加 104	5%増加 105
	使用済み用紙のリサイクル	51.5kg	実績把握	実績把握	実績把握	
グリーン購入	環境配慮商品の購入	18品目	実績把握	実績把握	実績把握	

・注釈事項は、上記に同じ ※電力消費量削減(日光営業所)は取扱重量当りの数値を出している

2.2023年度目標と実績

(2023年1月～12月)

		基準	目標	実績		
二酸化炭素排出抑制	電力消費量削減 (鹿沼営業所)	(2021年度実績) 5539kwh	2%削減 5428kwh	7224kwh (+25%)	未達成	
	電力消費量削減 (日光営業所)※	(2021年度実績) 28.24kwh/t	2%削減 27.68kwh/t	32.19kwh/t (+14%)	未達成	
	車両の軽油使用量の削減	(2021年度実績) 4.700ℓ/t	2%削減 4.606ℓ/t	6.926ℓ/t (+33%)	未達成	
	二酸化炭素排出量の削減	(2021年度実績) 192,255kg-CO2	2%削減 188,410kg-CO2	179,611kg-CO2 (-4.9%)	達成	
水使用量削減	節水 (鹿沼営業所)	(2021年度実績) 27m ³	維持管理目標 27m ³ 以下	20m ³	把握	
	節水 (日光営業所)	(2021年度実績) 55m ³	維持管理目標 50m ³ 以下	86m ³	把握	
廃棄物排出抑制	再生資源 取扱量を 増やす	鉄・非鉄	(2021年度実績) 100	4%増加 104	74 (-26%)	未達成
		古紙	(2021年度実績) 100	4%増加 104	87 (-13%)	未達成
	使用済み用紙のリサイクル(鹿沼)	(2021年度実績) 34kg	実績把握	35kg		
	使用済み用紙のリサイクル(日光)	(2021年度実績) 17.5kg	実績把握	7.6kg		
グリーン購入	環境配慮商品の購入 (鹿沼営業所)	(2021年度実績) 18品目	実績把握	28品目		
	環境配慮商品の購入 (日光営業所)	(2021年度実績) 0品目	実績把握	0品目		

・購入電力の排出係数は平成26年度公表の東京電力の0.531を使用

・化学物質はエンジンオイル・潤滑油・グリス等であり、PRTR対象物質が無い為、目標に取り上げていません。

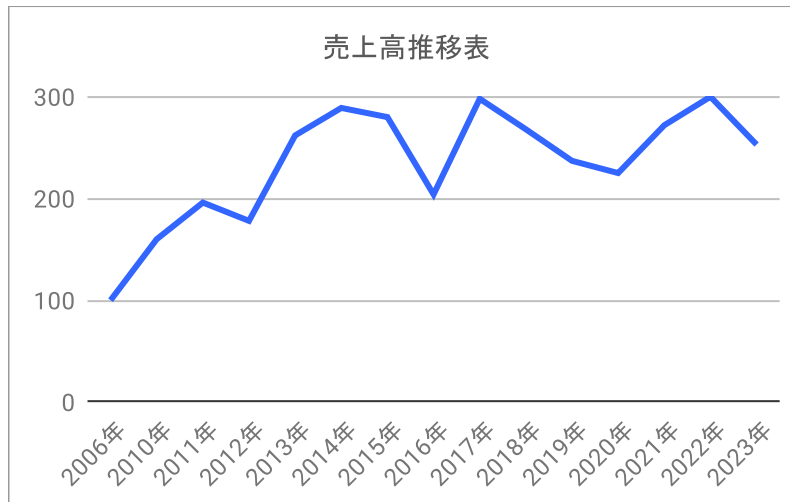
・再生資源物取扱量については基準年の実績値を100とした指標で表している。

・事業における環境配慮の目標は、二酸化炭素排出量の削減と再生資源取扱量を増やす項目が該当します。

※電力消費量削減(日光営業所)は取扱重量当りの数値を出している

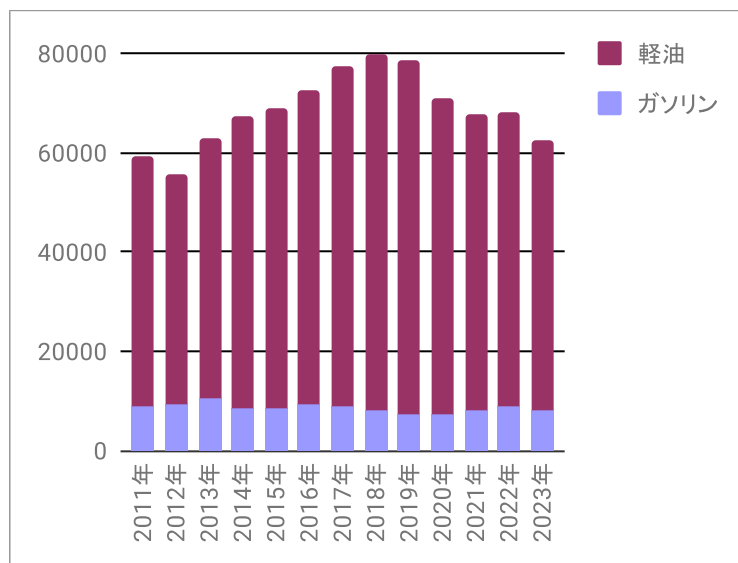
売上高の推移 ※2006年売上高を指標(100)とする

2006年	100
2010年	160
2011年	196
2012年	178
2013年	262
2014年	289
2015年	280
2016年	204
2017年	298
2018年	268
2019年	237
2020年	225
2021年	272
2022年	300
2023年	253



燃料使用量の推移(単位:L)

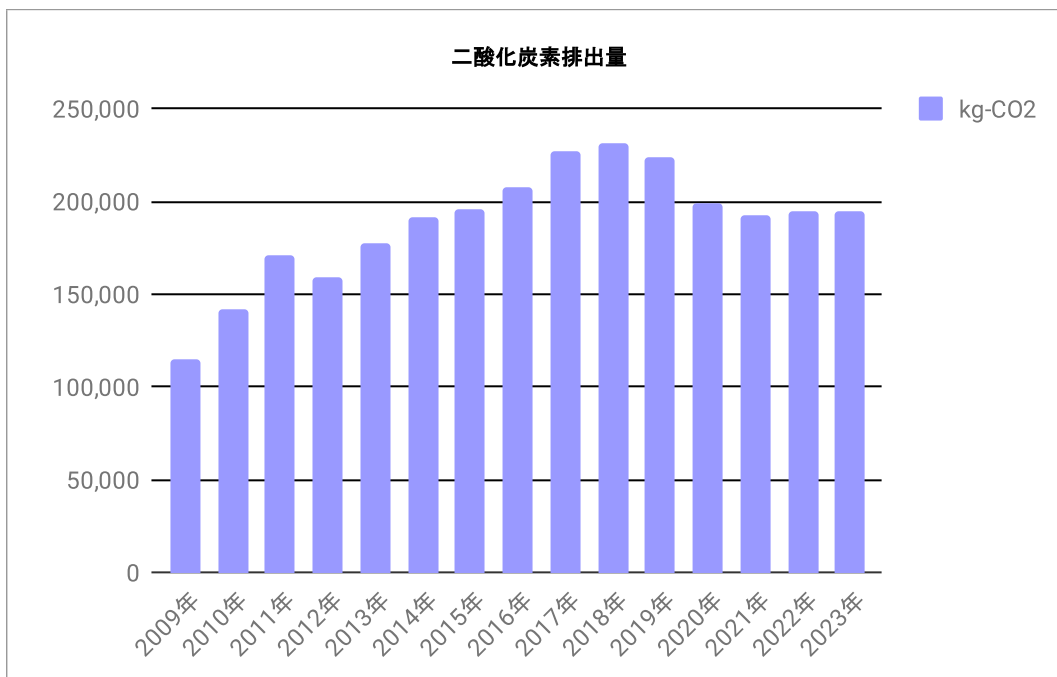
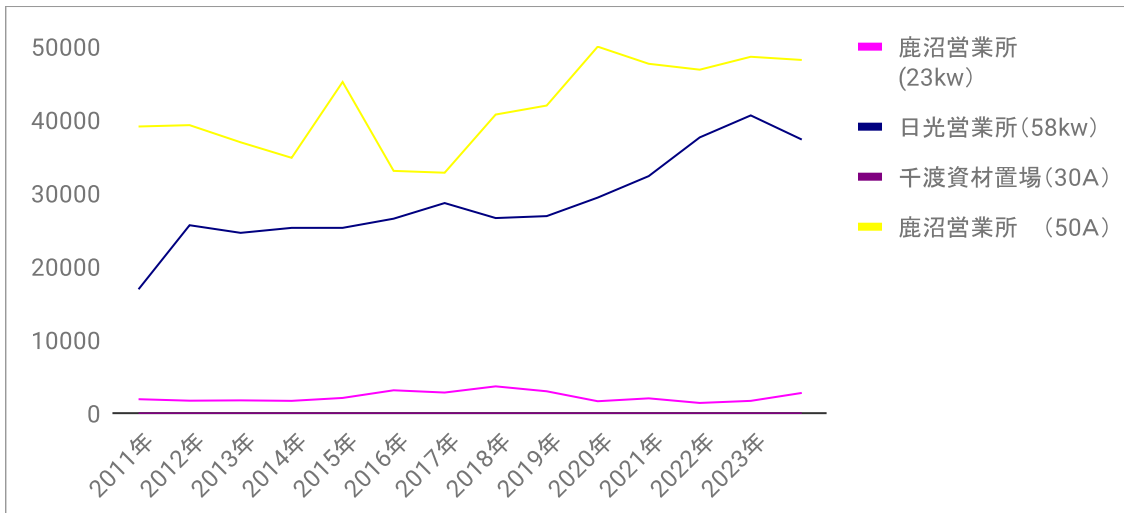
	ガソリン	軽油	合計
2011年	8714.66	50468.72	59183.38
2012年	9215.77	46409.54	55625.31
2013年	10608.38	52140.87	62749.25
2014年	8421.63	58821.15	67242.78
2015年	8452.01	60495.26	68947.27
2016年	9224.99	63360.11	72585.10
2017年	8671.27	68609.90	77281.17
2018年	8045.5	71572.86	79618.36
2019年	7248.36	71466.44	78714.80
2020年	7109.31	63972.12	71081.43
2021年	8065.38	59499.90	67565.28
2022年	8748.84	59430.64	68179.48
2023年	8095.71	54357.95	62453.66



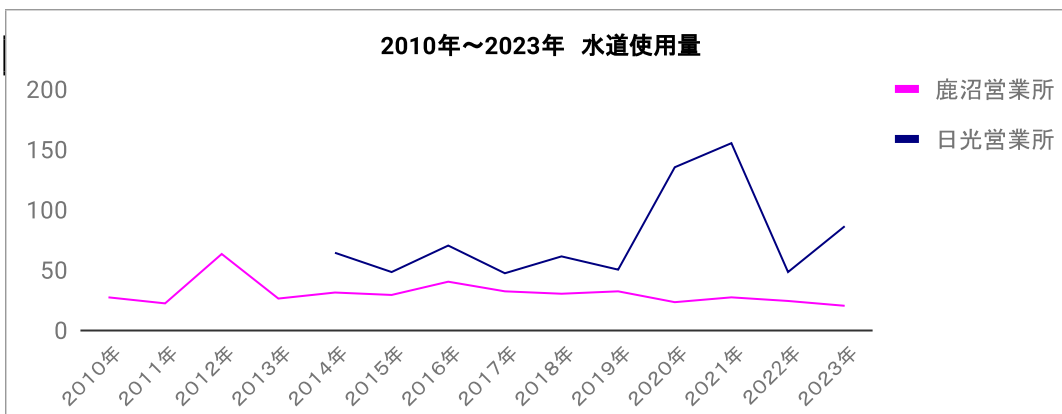
電気使用量の推移(単位:kwh)

	鹿沼営業所 (50A)	鹿沼営業所 (23kw)	日光営業所 (58kw)	千渡資材置 場(30A)
2010年	3,600	1,933	16,923	0
2011年	3,617	1,731	25,654	0
2012年	3,402	1,775	24,614	0
2013年	3,207	1,709	25,294	0
2014年	4,159	2,105	25,295	0
2015年	3,043	3,149	26,546	0
2016年	3,020	2,841	28,676	0
2017年	3,750	3,685	26,631	0
2018年	3,863	3,013	26,896	0
2019年	4,602	1,657	29,420	0
2020年	4,387	2,050	32,350	0
2021年	4,313	1,423	37,627	0
2022年	4,475	1,707	40,626	0
2023年	4,435	2,789	37,335	0

※日光営業所は、2010年5月半ばより6kwから58kwに契約変更。

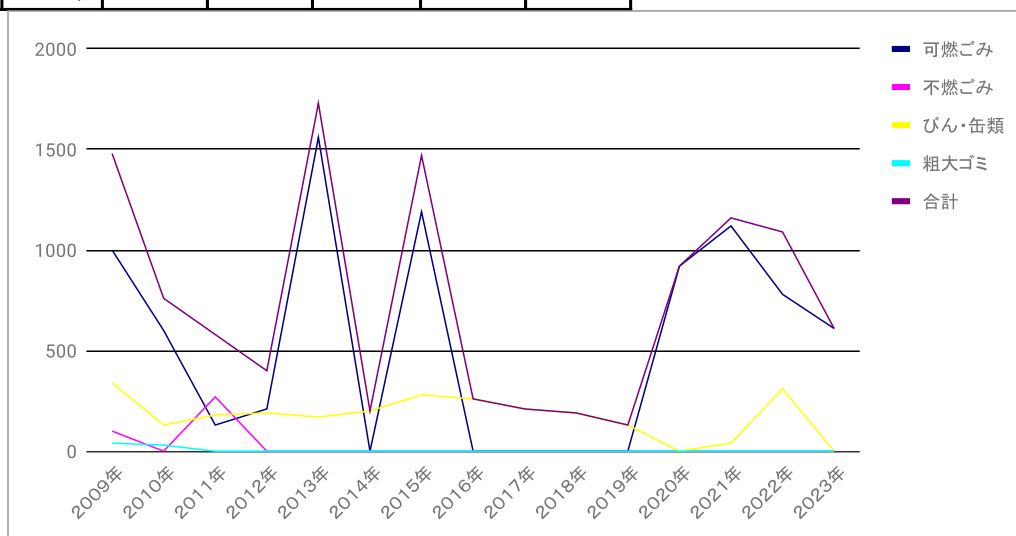


水道使用量(m3)



一般廃棄物排出量の推移 (単位:kg)

	可燃ごみ	不燃ごみ	びん・缶類	粗大ゴミ	合計
2009年	1,000	100	340	40	1,480
2010年	600	0	130	30	760
2011年	130	270	180	0	580
2012年	210	0	190	0	400
2013年	1560	0	170	0	1730
2014年	0	0	200	0	200
2015年	1190	0	280	0	1470
2016年	0	0	260	0	260
2017年	0	0	210	0	210
2018年	0	0	190	0	190
2019年	0	0	130	0	130
2020年	920	0	0	0	920
2021年	1120	0	40	0	1160
2022年	780	0	310	0	1090
2023年	610	0	0	0	610



産業廃棄物排出量の推移 (単位:kg)

年	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート及び陶磁器屑	金属屑	がれき類	廃油 (ℓ)	紙くず	木くず	繊維くず	合計
2010年	4,090	9,200	0	2,000	0	300	1,525	120	17,235
2011年	3,200	0	0	0	300	0	3,550	0	7,050
2012年	3,140	2,300	0	0	0	85	0	0	5,525
2013年	4,400	1,150	0	0	0	0	3470	0	9,020
2014年	8,400	0	0	0	0	0	12465	0	20,865
2015年	6,200	0	0	0	0	450	4950	0	11,600
2016年	1,630	0	226	296	0	0	2145	0	4,297
2017年	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500
2018年	2,715	500	0	0	0	300	0	6325	9,840
2019年	350	0	0	0	0	0	2130	0	2,480
2020年	710	0	0	0	0	0	0	0	710
2021年	14,780	0	0	2960	0	900	2840	0	21,480
2022年	14,240	500	565	0	0	0	11260	0	26,565
2023年	1,200	500	0	4400	0	0	0	0	6,100

■環境経営計画

環境目標	環境活動計画の内容	実施時期	
運搬車両の燃費向上	エコドライブ	・ 無用なアイドリングをやめる。必要以外はエンジンOFF(1時間のアイドリングで最大1800ccもの燃料が無駄になる)	通年
		・ 急発進、急加速、急ブレーキをやめ、車間距離をとる	通年
		・ 一定の時速で走らせるよう心掛ける。不必要なスピードは出さない。	通年
		・ エコドライブチェック表の作成	通年
		・ 過積載運行の防止、不要なものは積まない。	通年
	経済走行	・ 引取先、納入先への最短ルートや混み具合をみて、効率がよくて、燃費消費の少ないルートをできるだけ選ぶ	通年
		・ 戻り便を有効利用させる。	通年
保守管理	・ 決めている周期で必ず車両点検チェックを行う。	通年	
節電・節水・紙資源使用量の削減	節電	・ 不必要な電気は消すように心掛ける。	通年
		・ OA機器(パソコン、プリンター、コピー機等)は省エネモードに設定する。	通年
		・ 空調温度設定は、夏季28℃以上、冬季20℃以下を徹底する。	通年
		・ 日中、照度が十分に得られる場所は、照明機器を消灯させる。	通年
		・ クールビズ、ウォームビズをとりいれる	通年
		・ 装置類の空運転をしない	通年
		・ 装置類を使用しない時は必ず電源を切る	通年
		・ 装置類の定期点検の実施	通年
	節水	・ ソーラーパネルの活用	通年
		・ 水を出しっぱなしにしない。	通年
		・ 節水コマの導入。	通年
	紙資源使用量の削減	・ 定期的は漏水していないかチェックする。	通年
		・ 片面印刷の使用済み用紙は、裏面を再利用させる。	通年
・ 使用済み封筒は、再利用するよう心掛ける。		通年	
・ 資料、データの共有化を心掛ける。(LAN接続の活用)		通年	
再生資源の削減 ・ 再生資源の推進 ・ 事務所にける一般廃棄物削減	再生資源の推進	・ 電子メール、無料オンラインストレージ等を有効に使いペーパーレス化を推進させる。	通年
		・ 入荷、出荷、在庫のデータを毎月管理する。	通年
		・ コンテナ稼働状況をチェックする。	通年
		・ 営業部門を拡大させる。(採用情報で営業職を呼びかける)。	通年
		・ 広告活動(インターネット、DM等)。	通年
		・ 環境展、リサイクル工場の見学。	通年
	事務所にける一般廃棄物削減	・ 中間処理場の計画。	通年
		・ 勉強会、講習会等に参加する。	通年
		・ 分別を徹底させる。	通年
		・ 印刷物等紙資源は徹底してリサイクルする。	通年
地域環境購入活動 ・ 人材の教育 ・ 3S活動	グリーン購入	・ 環境配慮商品を優先的に選ぶ。	通年
	人材の教育	・ 環境に関する情報など鹿沼営業所内に掲示し、全従業員に周知する。	通年
		・ 必要資格の取得、講習の受講などを推進する。	通年
		・ 毎朝のミーティングにより、教育を行う。	通年
		・ 緊急事態の訓練を実施し、緊急事態発生に備える。	通年
	3S活動	・ S1整理 「今要るモノ」「急がないモノ」「要らないモノ」を区別する。	通年
		・ S2整頓 「要るモノ」を「要る時に」「すぐ取り出せるよう」ように5頓する。(5頓とは「定位置」「定方向」「定量」「表示」「標識」)	通年
・ S3清掃 「ゴミ、チリ、ホコリ、汚れ」がなく「ピカピカの状態」を維持する。		通年	
地域環境活動	・ 再生資源回収事業を通じて地域とのコミュニケーションをとる。	年2回	

■環境経営活動の取組結果の評価及び今後の取組

1.二酸化炭素排出抑制

(1)電力消費量削減

(鹿沼営業所)

2022年11月から始まっていたクリーンセンターからのバラのアルミ缶搬入が7月まで続き、弊社でプレスすることが続いていたため、電気使用量が大きく増えている。搬入が終了した8月以降も全ての月で目標を上回ってしまっている。ここ最近の夏の異常気象により、エアコンの温度を28℃設定にするのは困難である。

2024年度は、今期の結果を元に目標を再設定し、新たな気持ちで達成できるような努力していく。

(日光営業所)

日光営業所も目標を達成することができなかった。

冬場の使用量が上がっている傾向にあるので、暖房使用の影響だと思われる。基本的な節電は既に定着していると思うので、2024年度もこれまでの結果を維持できるよう努力する。

(2)車両の軽油使用量の削減

今年度は目標を達成することができなかった。

月ごとの目標も全部の月で未達成となっている。

昨年度と比較すると、取扱重量に対して消費量が多くなっている為だと思われる。相積の実施や、空走行をなるべくしないなど、工夫しながらやっていきたい。

(3)二酸化炭素排出量

今年度は目標に対し、5%削減できた

電力消費量は昨年よりも増加しているが、ガソリン・軽油の使用量が昨年よりも減少傾向にある。

事務所内の電気の消灯やエアコンの消し忘れ等に気をつけ、わずかでも削減できるよう努めていきたい。

2.水使用量削減

(鹿沼営業所)

今年度もほぼ例年並みの結果だった。

これ以上削減の余地もないので、今後もこの状態を維持しながらやっていきたい。

(日光営業所)

1月にまた漏水により一月で50㎡と大幅に使用してしまった。

敷地外の建屋からの漏水のため、気づきにくいのが問題点である。

水道管が凍結しやすい時期にはこまめにチェックし、早めに対応できるようにしていきたい。

3.廃棄物排出抑制

(1)再生資源取扱量を増やす

本業として、また、循環型社会形成を担う上で、この取扱量を増やすことは、社会全体の廃棄物削減につながると考えて目標設定したものである。

鉄・非鉄、古紙ともに今年度も目標を達成できなかった。鉄・非鉄の目標を達成できたのは9月だけだった。

銅の相場がだいぶ上がっているため取扱量が増えるよう、営業活動に力を入れていきたい。

(2)使用済み用紙のリサイクル

電機帳簿保存法等の影響か、PDFでのやり取りのみとなった得意先がだいぶ増えたが、それでもやはり原本が必要とされる得意先もまだまだ多いのが現状である。

4.グリーン購入

エコマークやメーカーが推奨する環境配慮商品の品目数は、28品目だった。

購入する品目に環境配慮商品があれば優先して購入しているが、価格との兼ね合いもあるのでできる範囲で取り入れていきたい。

5.教育・地域環境活動・3S活動

今年度は5月からとなってしまうが、久しぶりに月1度の教育を再開した。

地域環境活動は日光営業所：3月15日実施。鹿沼営業所は2023年度も実施できなかった。

今後とも、従業員が役割と責任を理解し、安全できれいな職場、この地域になくてはならない企業を目指し、事業活動を行っていく。

■ 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

法令等の名称	対象施設/設備/業務等	主な要求事項
廃棄物処理法	・収集運搬業者 (廃プラ、金属くず、木くず等 9品目)	・委託契約書の締結 ・産業廃棄物収集運搬実績報告書の提出 ・産業廃棄物収集運搬業許可申請書の提出 ・車両への表示/提携義務
	・排出業者	・委託契約書の締結 ・マニフェストの発行/返送管理 ・マニフェストの交付等状況報告書の提出 ・処理状況確認(努力義務)
自動車 NOx・PM法	・ディーゼル車	・埼玉、千葉、東京、神奈川を通過する場合 九都県市条例が適用される。
フロン排出抑制法	・冷媒回収業者 (エアコン及び冷凍/冷蔵機器)	・第一種フロン類回収量の報告書提出 ・第一種フロン類回収業者登録申請書提出
	・自社用エアコン	・簡易点検の実施
自動車 リサイクル法	・保有台数 ①15tトラック 1台 ②10tトラック 1台 ③8tトラック 4台 ④6tトラック 1台 ⑤4tトラック 2台 ⑥3.5tトラック 1台 ⑦3tトラック 1台 ⑧2tトラック 6台	・リサイクル料金の預託
下水道法	・生活排水	・油や有害物を流さない
計量法	・計量事業所	・計量証明書報告書の提出 ・台貫の検査(2年毎)

環境関連法規に関しては、2024年1月19日に遵守状況を確認し、違反はありませんでした。
また、関係当局からも創業以来、違反等の指摘は1件もありません。
同様に、訴訟や苦情等もありませんでした。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度は1項目しか達成できなかった。
2024年度は2023年度の実績を元に新たに設定し、目標達成に向けて努力する。
2024年度も再生資源物取扱量の増加に力を入れていきたい。
取扱量の減少で厳しい状況であるが、いかに達成するかが大きな課題である。

■ 地域環境活動

2023年度日光営業所にて3月15日に実施しました。鹿沼営業所はできなかったため、2024年度は実施したいと思います。